

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 東浦町立藤江小学校

種 別  保育園・幼稚園     小学校     小中一貫教育  
 中学校     中高一貫教育     高等学校  
 教員養成     技術/職業教育  
 特別支援学校     その他（                    ）

所在地 〒470-2105  
愛知県知多郡東浦町大字藤江字仏131

E-mail hfujshot@ma.medias.ne.jp

Website http://www.medias.ne.jp/~hfujshot/

児童生徒数 男子 207名    女子 222名    合計 429名  
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（      福祉      ）

### 3. 活動内容

（1）1年間の主な活動内容について記載願います。

- 環境および生物多様性に関する主な取組
  - 校区内にある竹林でのタケノコ掘り
    - ・ 竹林に囲まれた地域の環境に興味をもたせるためタケノコ掘りを行った。
  - 竹炭作り体験

- ・地域の竹炭同好会の協力を得て竹炭作り学習会を行った。竹炭作りの活動を通して、児童に作り方や竹炭の効能を伝え、地域学習を推進した。
- ビオトープ観察
  - ・地域の自然観察指導員の協力を得て、ビオトープの清掃を兼ね、児童に水生生物やその環境に関心をもたせる会を開催した。
- 野鳥観察会
  - ・地域の関係機関の方の協力を得て、定期的な野鳥観察を通して、藤江地区の自然環境に関心をもたせる活動を行った。(5・6・9・11月に実施。12月は親子での野鳥観察会)
- オニバス観察会
  - ・町内の於大公園オニバス池へ出かけ、絶滅危惧種「日本原産オニバス」の保全活動に携わる方からお話を聞き、オニバスを観察した。
- アイシン環境学習プログラム
  - ・アイシン精機株式会社の協力を得て、森と動物についての学習、ワークショップ、エコ実践、発表会というプログラムを通して環境学習を行った。
- 緑のカーテン
  - ・児童に地球環境や温暖化問題を考えるきっかけをつくるため、校舎南に網を設置し、緑のカーテンを育てた。
- 伝統文化に関する主な取組
  - 昔のくらしを知ろう
    - ・地域の老人会からの協力を得て、お年寄りの方から昔の遊びを児童が教えてもらえるようにし、一緒に楽しめる会を開催した。この会を通して伝統文化の継承および地域学習に取り組んだ。
  - 「だんつく」を学ぶ会
    - ・藤江地区に伝えられている県の無形民族文化財の「だんつく獅子舞」の体験を通して、地域の伝統芸能に触れる機会を設定した。
- 国際理解に関する主な取組
  - 修学旅行
    - ・修学旅行で訪れる京都と奈良で旅行中の外国人との交流を計画。事前の学習および交流の中から、国際交流のきっかけづくりを企画・実行した。
  - 校長による講話
    - ・6年生対象に、海外赴任で経験した生活や体験を話し、国際理解を深めた。
- 福祉に関する主な取組
  - 「ひがしうらの家」訪問
    - ・障害者支援施設「ひがしうらの家」を訪問し、入所者の方と話をしたり、作業のお手伝いをしたり、お楽しみ会を開いたりして交流した。
  - 福祉実践教室
    - ・手話・ガイドヘルプ・車いす・点字の講座を受けた。
- ユネスコスクールおよびESD活動についての情報発信の場
  - 藤江っ子まつり(ESD発表会)
    - ・推進してきた上記のような取組やESD活動で学んだことを、保護者や地域の人にも公開・発信する場を設定した。
  - 愛知県野生生物保護実績発表大会
    - ・野鳥観察活動や野鳥保護の活動をまとめ発表した。日本野鳥の会愛知県支部長賞を受賞した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）